

通常砂防事業事前評価調書

路線・河川等名	瀬崎川	事業名	通常砂防事業	補助・単独の別	補助
事業主体	京都府	事業箇所(区間)	舞鶴市瀬崎		
事業概要	目的	瀬崎川は、舞鶴市瀬崎に位置し、保全対象として人家30戸及び避難所を含む溪流である。今後の集中豪雨等により土砂災害の発生が懸念されるため、対策工事を実施する。			
	内容	砂防堰堤：1基 溪流保全工 1式 全体事業費：6.0億円			
	上位計画等	京都府総合計画 社会資本総合整備計画			
事業の必要性	事業を巡る社会経済情勢及び地元情勢等	保全対象には、人家30戸及び避難所が含まれ、土砂災害が発生した場合、地域住民に与える影響は大きい。			
事業の有効性	事業の効果及び費用対便益等	土石流等の土砂災害から下流に存在する人家、公共施設を守り、人命を保全する事業であり、投資効果は大きい。			
事業の効率性等	コスト縮減代替案立案等の可能性及び良好な環境形成・保全	砂防堰堤を効率的に配置し、施設効果の最大化を図ることで、地形の改変を最小限に抑え、自然環境への負荷軽減に努める。 また、現地発生土を他工事に積極的に流用調整することで総事業費のコスト縮減を図る。			
総合評価	本事業は、土砂災害からの人命保護及び地域の安全確保の観点から、新規事業着手の必要がある。				

せざきかわ

瀬崎川 通常砂防事業

きょうとふ まいづるし せざき
京都府 舞鶴市 瀬崎

◎事業目的

瀬崎川は、舞鶴市瀬崎に位置し、保全対象として人家30戸及び避難所を含む溪流である。今後の集中豪雨等により土砂災害の発生が懸念されるため、対策工事を実施する。

全体計画	H31年度までの実績	R2年度
事業期間：R2～		事業概要：
事業概要：砂防堰堤工 1基 溪流保全工 1式		測量試験費 1式 地質調査費 1式 詳細設計 1式 事業費：C=15百万円
総事業費：600百万円		

◎事業効果

○堰堤工及び溪流保全工を整備することにより人家30戸及び地域の避難所である瀬崎集会所の土石流による土砂災害の防止を図ります。



溪流浸食状況



瀬崎集会所

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	令和2年 3月 9日		
		作成部署	建設交通部砂防課		
事業名	瀬崎川 通常砂防事業		地区名	舞鶴市瀬崎	
概算事業費	6.0億円		事業期間	令和2年度～	
事業概要	砂防堰堤 1基 溪流保全工 1式				
目指すべき環境像	瀬崎川は、舞鶴市瀬崎に位置し、保全対象として人家30戸及び避難所を含む溪流である。今後の大雨により土砂災害の発生が懸念され早急に対策が必要である。				
関連する公共事業	なし				
評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価	
主要な評価の視点	選定要否				
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)	溪流が荒廃しており、溪床には不安定な土砂が堆積しているため、荒廃の進行を防止し、それに伴う溪流周辺の地形の保全を図る必要がある。	砂防堰堤工を整備することで、土砂災害の原因となる溪流の土砂移動を抑制し、現地形の保全を図り、生態系の維持に寄与する。		
	地形・地質			○	3
	物質循環(土砂移動)			○	4
	野生生物・絶滅危惧種				
	生態系			○	3
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	溪流下流に人家等が位置しているため、工事期間中は工事車両による騒音・振動を抑制する必要がある。また、建設発生土を極力リサイクルする必要がある。	工事実施中は、低騒音・低振動機を使用することを原則とする。また、建設発生土は当該工事や近隣の公共工事や民間工事と調整し、再利用に努める。		
	水環境・水循環				
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動			○	3
	廃棄物・リサイクル			○	3
	化学物質・粉じん等			○	3
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観	当該溪流周辺は人家が多数存在する地域であり、景観への配慮や地形の改変を最小限に止める必要がある。	材料の選定においては、地域の自然景観との調和を図るよう努める。地域住民に対して行う工事説明会等は、防災に対する意識向上を図り、地域住民との協働につながるよう検討する。	3	
	里山の保全				
	地域の文化資産				
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働			○	4
	その他				
外部評価					